

災害に備え、命を守る

8月2日、「災害に備え、命を守る」と題された防災講話が、ジョイじよぐらにて開催されました。これは近年、増加の一途をたどる過去類を見ない災害に対し、どのようにして自らの身を守るかを、北海道危機対策局の講師を招いて開催されました。

講話では、同局の上段貞二氏、佐藤法夫氏、岡昭雄氏の3名から、現実に大災害となった南富良野町での災害支援活動の経験を踏まえ、「疑わしきは最悪の事態を想定して行動する」「携帯できる避難用具をまとめるなど、平時から出来る備えを行う」など、常に避難を想定した意識でいるよう促していました。本町では、2年前の9月18日、台風の影響で天の川が決壊寸前の危険な状態を経験しましたが、今後も同様の災害が起る可能性は十分ありますので、常に災害に備え、状況に即して命を守るために最善の準備と行動を心がけましょう。



上ノ国産日本酒・天河のめぐみ

上ノ国産のお米「ふつくりんこ」と「ななつぼし」を用いた日本酒「天河のめぐみ」がこの度完成し、試験的に町内スーパーの店頭に並びました。

この取組は、上ノ国町には山の幸、海の幸を用いた様々な食文化があります。これらに合う地酒を造りたいという声が上がったことで、上ノ国観光ガイド協会が始めたものです。

醸造には秋田県の特産酒造の協力を得て、鳥海山の水と地元のお米で造られたとのことで、純米大吟醸酒として誕生しました。

8月10日には試飲会がジョイじよぐらにて開催され、様々な意見が出されました。今後、こうした場などで出てきた意見を集約し、商品化を模索していくこととなります。



盆踊り、装いも新たに心機一転

8月17日、上ノ国町内会主催による盆踊り大会が、上ノ国診療所前駐車場にて開催されました。上ノ国町内会では今年、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の助成を受け、新しいやぐらや音響設備などを整備しました。

会場では、新しくなったやぐらを中心に、上ノ国音頭や盆踊り、上ノ国町に古くから伝わる昔踊りなどが披露されたほか、自由参加の仮装大会も会場を盛り上げ、同地区の盆踊り大会は今まで以上の盛況ぶりとなりました。

このことについて、上ノ国地区の北村町内会長にお話を伺ったところ、「古くなり限界に来ていたやぐらや音響設備などが更新され、主催側としても今年は今まで以上に盛り上げたかった。結果として、新たな催しもあり、多くの方に参加してもらい、楽しんでもらえたように良かった」と話し、来年も今年以上に地域活動を盛り上げていきたいとのことでした。



ロックンガールの歌声 上ノ国に響く

7月28日、上ノ国町商工会青年部が主催するビアガーデンがジョイじよぐら前駐車場で開催され、それに合わせて、かつて日本のブルース・ロック界を席巻した「レイニーウッド with 中村耕一」のライブが行われました。

ロックバンド「レイニーウッド」は、故・柳ジョージ氏と共に、1970年代後半から1980年代前半にかけて数々のヒット曲を飛ばし続けた存在で、今回のライブでは「WALK」の元ボーカリスト中村耕一氏とともに、往年の名曲を披露しました。

ライブには、町内は勿論、遠くは道外からもファンが押し掛け、天の川ホールの観客席もほぼ満席となり、なかでもヴォーカルの中村耕一さんは両親ともに江差町出身で、中学生のころまで毎年夏と冬休みには江差町で過ごし、たそう、ライブは驚きと喝采に溢れ、終始盛り上がりを見せていました。

